

●目次詳細

刊行にあたって

まえがき

第1章 予防教育科学と新しい学校予防教育

1. 学校の児童・生徒を取り巻く、健康・適応上の問題
2. 予防の重要性
3. 発達の観点の重要性
4. 学校における予防と治療
5. 予防教育科学 ―教育科学と予防教育の合体―
6. 新しい学校予防教育

第2章 トップ・セルフの教育目標

1. 健康と適応をもたらすおおもとの性格
2. 自律性に続く教育目標
3. 構成目標の設定
4. 構成目標間の関連と基盤となる教育態度
5. オプショナル教育の目標
6. 目標の階層性
7. ベース総合教育の学年進行
8. オプショナル教育の実施対象学年と時期

第3章 なぜ、これまでの教育が通用しないのか

1. トップ・セルフへの壁
2. 情動と感情にまつわる近年の脳科学からの知見
3. 情動の意識化の問題が適応上の問題をもたらすとき
4. 情動の意識化のプロセスの多段階性
5. トップ・セルフの授業における情動・感情喚起の役割
6. 喚起する情動・感情の種類と近年の正感情の機能に関する研究がおしえること
7. 自律性と情動の意識化の問題
8. 情動・感情の重要性のまとめ

第4章 (構成)上位目標 「自己信頼心(自信)の育成」

1. 目標へのエビデンスのつけ方
2. 自己信頼心(自信)の育成で目指すこと
3. 上位目標を構成する中位目標
4. 中位目標と下位目標
5. 下位目標と操作目標
6. 目標の学年差

第5章 (構成)上位目標 「感情の理解と対処の育成」

1. 感情の理解と対処の育成で目指すこと
2. 上位目標を構成する中位目標
3. 中位目標と下位目標
4. 下位目標と操作目標
5. 目標の学年差

第6章 (構成)上位目標 「向社会性の育成」

1. 向社会性の育成で目指すこと
2. 上位目標を構成する中位目標
3. 中位目標と下位目標
4. 下位目標と操作目標
5. 目標の学年差

第7章 (構成)上位目標 「ソーシャル・スキルの育成」

1. 「ソーシャル・スキルの育成」で目指すこと
2. 上位目標を構成する中位目標
3. 中位目標と下位目標
4. 下位目標と操作目標
5. 目標の学年差

第8章 トップ・セルフの展開と今後の展開

1. 学校教員と予防教育
2. 固定化の度合いが高い学校カリキュラムに入る
3. 学校における予防教育の進め方 ーその他の注意点
4. 今後明示すべきこと

あとがき

執筆者一覧